

科目区分	専門分野	授業科目	母性看護援助論Ⅲ
講師	看護教員 助産師	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次 第2学期
目的：母性看護特有な援助技術について習得する 目標：母性看護特有の援助技術が実施できる			
講義概要 メッセージ	マタニティサイクルにある対象者へのかかわり方や産後の支援といった広い視野を持ってアセスメントできるように なって欲しいです。そして、出産という命が誕生する貴重な瞬間に看護者として何ができるのか、自分なりの看護を考 えていきましょう。実際の現場の経験を話しながら一緒に楽しい演習にしたいと思っています。		
回	授 業 内 容	講義方法	
1	1. 妊婦の看護技術 (妊婦体験モデルを使用して) 1) 妊婦健康診査：妊娠週数と妊婦健康診査 (1) 子宮底長測定 (2) 腹囲測定 (3) レオポルド触診 2) 検査 (1) NST (2) 胎児心音の聴取	講義 演習	
2	1. 産婦の看護技術 1) 分娩期の援助 (1) 陣痛と胎児モニタリング(分娩進行と胎児心拍波形分類) (2) 産痛の緩和援助法(リラクゼーション、三陰交、マッサージ) 2) 分娩第4期の援助	演習	
3~4	1. 褥婦の看護技術 (産褥モデル人形使用) 1) 生殖器復古の観察 2) 悪露交換と観察 (悪露模型) 3) 産褥体操(骨盤底筋体操の目的) 4) 母乳哺育の援助 (1) 乳房・乳頭の観察 (乳房模型作成: 扁平乳頭、陥没乳頭) (2) 乳頭・乳輪の圧迫法・マッサージ法 2. 新生児の看護技術 (新生児モデル人形使用) 1) 身体計測・出生直後の観察 2) バイタルサイン測定 3) 育児技術(おむつ交換、抱き方、衣類の着せ方) 4) 清潔援助(沐浴、ドライテクニック)	演習	
5~7	1. 母性のウェルネス志向の考え方と看護過程 1) ウェルネス志向とは 2) ウェルネス志向のマタニティ診断 3) 診断名の表現方法 4) 正常褥婦と新生児の看護展開	講義	
8(45分)	終了試験		
評価方法	筆記試験 80点(技術) 課題 20点(看護過程) 評価基準参照		
テキスト	メヂカルフレンド社：根拠がわかる母性看護技術 医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学Ⅱ〔2〕母性看護学各論		
備 考	準備品：メジャー、新生児モデル人形、妊婦体験モデル、レオポルド触診モデル 乳房モデル、悪露模型 既習関連科目：母性看護学概論、母性援助論Ⅰ、小児看護学概論(新生児)		